

事務事業名		職員技術研修事務					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり					担当組織	担当部	都市建設部	担当課	都市計画課
	政策	2 自立した行政経営によるまちづくり					担当係	計画係	担当課長名	越石 彰	
	施策	3 分権時代を担う職員の育成と人事管理					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 能力向上のための研修の充実					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	11447	一般	8	4	1	職員技術研修事務					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	年度～ 年度		根拠法令 条例等	市単独事業・国県補助事業		市単独事業			
						任意的事業・義務的事業		任意的事業			
						実施方法		直営			
						事業分類		その他内部事務事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
<ul style="list-style-type: none"> <li>技術担当職員が効率的で適正な計画、設計、工事監理を執行するための研修制度である。</li> <li>専門技術研修へ派遣し、新しい専門的な知識を習得し、市民サービスの維持、向上を図る。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>都市建設部内の職員から研修受講者を募り、5名の職員を一般財団法人全国建設技術センターへ派遣した。</li> <li>研修名:①舗装技術 ②建築確認実務 ③土木技術のポイント(計画・設計) ④土木技術のポイント(施工・監督・検査) ⑤大規模災害発生直後における対応</li> </ul>							
活動指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
専門技術研修へ派遣			人	4	5	10	10	10		
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
・都市建設部職員			対象指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
			都市建設部職員数		人	113	108	108	108	108
目的 ③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
<ul style="list-style-type: none"> <li>より専門的で新しい知識を習得し、さらなる市民サービスの維持、向上を目指し執務に当たる。</li> </ul>			成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
			専門技術研修の受講者数		人	4	5	10	10	10
④結果(どのような結果に結びつきますか?)										
<ul style="list-style-type: none"> <li>職員として求められる能力を高めるとともに、自主的な能力開発を促す。</li> </ul>			上位成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
			自己啓発に取り組んでいる職員の割合		%	53.7	59.7	68.0	71.0	74.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	25	38	93	93	93	
	事業費計(A)	千円	25	38	93	93	93	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			普通旅費	25	普通旅費	38	普通旅費	93
	人件費	人	1	1	1	1	1	
のべ業務時間	時間	5	5	5	5	5		
人件費計(B)	千円	19	19	19	19	19		
トータルコスト(A)+(B)	千円	44	57	112	112	112		

事務事業名	職員技術研修事務	担当部	都市建設部	担当課	都市計画課	担当係	計画係
-------	----------	-----	-------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	・適正で効率的な公共工事を執行するため、技術関係職員の専門知識の習得と市民サービス意識の向上を図るため、事業開始年度は不明であるが20数年余実施している。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	・適正な公共工事執行のための法律が制定されるなど、技術関係職員の責任度合いも重くなっている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	・なし。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	・現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	・技術関係職員の能力の向上に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	・適正な公共工事や許認可事務を執行することに繋がり、妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	・新しい知識、情報を得ることで、技術関係職員のレベルアップになる。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	・技術関係職員のレベルアップが図られている。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	・公益財団法人栃木県市町村振興協会の助成制度を平成23年度から活用できるようになり、受講経費の全額(研修会費及び宿泊費)が助成され、旅費のみである。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	・研修を受講後、関係する職員を対象に研究発表会を開催して、都市建設部関係職員全体の技術の向上を図っており、特定の受益者はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
・技術関係職員が、効率的で適正な調査・計画・設計・監理等を執行するために、技術の向上は必要であり、休止・終了はできない。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			